

平成 21 年度 市民活動団体連絡協議会 第 2 回通常総会 及び第 1 回 協議会 記録

日時：平成 21 年 7 月 9 日（木）18:00～21:00
場所：北上総合福祉センター 研修室

1 総会

あいさつ

会 長 高橋敏彦

交流会として会費を集め、その残金は事務連絡費とする。北上市の特産品の試食会を計画した。短い時間であるがみなさんに有意義な会議であるように期待する。

来賓あいさつ

地域づくり課長 平野昌幸

市民活動団体の様々な活動が市民のみなさんの元気、まちの元気に繋がっている。この活動が市内や市外の方々から高い評価を得ている。厳しい経済状況の中で北上市は早い時期から人材育成に力を入れている。国体開催問題もあげられている。北上市はまだまだ元気がある。これからも市民が主役のまちづくりや協働推進、地域支援に取り組んでいきたい。ご協力をお願いします。

議長選任

会長 高橋敏彦

（いわてNPO-NETサポート）

平成 20 年度事業報告と決算報告

菊池広人（いわてNPO-NETサポート）が行った。

監査報告

及川 一（わが流域環境ネット）が行った。満場一致で承認された。



通常総会の様子

平成 21 年度事業計画と予算

菊池広人（いわてNPO-NETサポート）が行った。満場一致で承認された。

2 事業紹介

- ・「広瀬川せせらぎ緑道」高砂橋ポケットパーク整備事業 山下正彦（広瀬川まちづくり倶楽部）
まちづくり整備事業の補助金を活用し、高砂橋ポケットパーク整備事業を実施する。8/25（土）に舗装平板をみんなでつくろう事業を行う予定である。参加者を募る。
- ・「樺山まつり」稲瀬地区自治振興協議会 司東道雄（NPO法人フォルダ・いなせ企画）
フォーラムと開催日が同じであるが、案内する。テーマは1,500人の参加者で歌を唄おうである。
- ・朗読劇「夏の雲は忘れない」 八重樫 哲（北上芸術文化協会）
鑑賞を勧める。

- ・記録映画「葦牙 -あしかび- こどもが拓く未来」 小笠原義幸(N P O法人北障連)
鬼柳町の都鳥兄弟が作成した。盛岡のみどり学園の児童虐待の記録映画である。さわやかなドラマである。鑑賞を勧める。
- ・コラボ チャレンジ「テレプロ」 昆野将俊(N P O法人芸術工房)
北上市の公募型協働事業助成金に採択された「テレプロ」事業を紹介。7月から受付開始した。
- ・「環境保護活動の支援」 及川 一(N P O法人わが流域環境ネット)
「悠久の森」の貴重な動植物の保護活動と絶滅危惧種「日本さくら草」の保護活動について紹介。

3 北上市総合計画策定について

政策企画課 高橋 剛

従来は市役所主導で行っていた総合計画の作成が、昨年からは「きたかみ未来創造会議」が公募した市民 35 名、市役所職員 25 名の計 60 名の意見として「北上市の将来像」を集約し、総合計画に反映することとした。8回の会議や市民へのアンケート調査、グループインタビューを実施し、広く市民の声をまとめ市民の声を総合計画に反映したい。さらに7/13～7/31までの3週間でパブリックコメントを募集、7/25(土)はフォーラムを開催する。

今回の基本構想「まちづくりの将来像」は、平成23年からの10年間を予定している。将来像を決めるために時代の変化への対応を考えて前期と後期のそれぞれ5年間を具体的な政策期間としている。予算編成に関わる実施計画は更に3年間を設定し、毎年見直しをかけながらその時代の市民ニーズに沿った企画展開を図る。



政策企画課 高橋 剛さん

もうひとつの特徴は地域計画の策定について16地区で議論いただいている。その他に岩手大学のサポートをいただいて計画作りを進めている。それぞれの地域で話し合った地域の将来像を市役所でもサポートし実現に向けていきたい。

市民の思いの満足度調査はグループインタビューとして山間部の高齢者や子育て中の母親、外国からいらしている方々に意見をいただいている。まちづくりのニーズ調査として市民の声の反映を図ってきた。未来会議は、政策策定の当初段階から北上市の強みや弱み、分野別の課題解決に向けたまちづくりの方法を議論した。その中では10年後の北上の……

(豪雨の音で聞き取り不能)

4 意見交換

高橋敏彦(議長)

総合計画の説明をいただいた、フォーラムの参加等の意見を伺いたい。

成瀬延晴(北上ユネスコ協会)

未来創造会議のメンバーとして参加して感じたことは、北上の生の課題がたくさん出された。

例えば教育文化グループでは若い人材の育成が必要である。若い人材が散ってしまう。

北上市にはユニークな文化的財産がたくさんある。例えば、民俗村まつりはすばらしいまつりであるが最近は尻すぼみになりつつある。そのような北上らしい文化をさらに充実させる仕組みを考える必要がある。

- ・若い人材育成のための大学等の教育施設不足が課題。
- ・芸能まつり、民俗村まつりをそれぞれ開催している課題。



北上ユネスコ協会 会長 成瀬延晴さん

高橋 剛（政策企画課）

未来創造会議でかなり議論されている内容なのでそれを踏まえて計画していく。

まちづくりには観光大使等を活用しているが多方面から情報発信の弱さが指摘されている。今あるものをよりいっそう魅力を高め、活力あるものに基本にもどって具体的にすすめて行くことを考えている。さらに、庁内では基本構想に向けて検討をすすめ、9月から未来会議の議論に向けて具体的な啓発を行う。まちづくりの目標に向けて市民や企業、地域の場面で議論をいただき、まちづくりの将来に向け来年の3月頃を目処に具体的な基本構想にかたちづくりたいと考えている。

高橋敏彦（議長）

今の未来創造会議についてご説明する。

これは市民のみなさんと行政のみなさんが今ある課題や資源などを出し合って具体的な計画を含めて絞り込んでいく作業を行った。未来造会議や地域の会議で話し合われた内容を含め、それぞれの政策ごとに各課からたたき台があがってくる予定である。次の未来創造会議は9月下旬に開かれる。その際にたたき台が示され、新たに付け加える内容もある。そのような手順で来年の3月まで計画づくりを進めて行く計画である。

予算と計画との関係性はどのようになっているのか。

高橋 剛（政策企画課）

現実は厳しい状況である。

高橋敏彦（議長）

予算は基本計画が立ったあとでそれぞれ細かく予算をつけるかを検討する。この段階は前回の総合計画では問題はなかった。今回の実施計画がでた段階のスケジュールでは、このような意見交換で出た提案に予算を配分することはできないのか。

高橋 剛（政策企画課）

従来の実施計画は10万円以内を積み上げた状況であった。例えば100万円の計画に70~80万円を実施計画としてセッティングし、予算が無くても実施できる事業を支援したい。基本計画は5年間ですが、更に実施計画は3年間の積み増しを行ない、毎年度見直しをかけた年に計画を立てている事業を見直す調整は必要である。そのときの状況を見ながらまちづくりを進めていきたい。

高橋敏彦（議長）

北上市総合計画の最新の情報を提供しながらみなさんの提案を反映するように進めていきたい。地域づくり情報に目を向けていただきたい。

司東道雄（NPO法人フォルダ・いなせ企画）

- ・民俗村祭りや夏祭りは100%行政が実施している。北上市のためにこのような会議でアイデアを出し合ってもっと元気な北上市になるように、みんなで知恵をだすことが北上市らしい祭りになるのではないか。
- ・教育文化の街の表現より、人材育成の街の表現がより解りやすい。
- ・北上市の人口は9万3千人であるが、人口増加については対策を考えていないのか。
- ・先端技術の表現があるが、現在ある技術も大事ではないか。

高橋敏彦（議長）

4点あった。民俗村祭りについては情報共有すれば良いということである。北上会社の芸能祭りではないかという話があるが、違う文言があれば北上らしくなるのではということでパブリックコメント等や議会などで具体的な提案をすることで代わる可能性がある。

高橋 剛（政策企画課）

人口では、昨年末から減少している。直近の5年間を比較し、国勢調査の5年間、或いは10年間で換算すると直近の5年間が1番厳しい。この厳しい経済状況で10年間続くのかということは必ずしもそうではないだろう。市民会議は努力目標として9万5千人を維持していきたいという願いである。工業に限らず農業研究センターのように色々な分野で北上市に先端技術が集約されている。先端技術の中に伝統技術が含まれて、北上市らしさを現すために先端技術の表現を使った。

高橋 求（NPO法人いわてNPO-NETサポート）

今回の総合計画では優先順位はどのような予定であるか。

高橋敏彦（議長）

市街地と農村部では地域によって優先順位が変わってくる。具体的な目標としてあじさい型集約都市をイメージしている。未来創造市民会議では優先順位をつけるための評価の仕方を勉強してから会議に臨むことを考えている。7/25(土)のフォーラムにてその話題に触れる予定である。

沼崎俊彦（NPO法人よつばネット）

- ・未来創造会議で話し合われた内容は部課長会議で検討するということであるがどのようなことなのか。
- ・大学の誘致の話題であるが、人材育成のための大学の誘致は可能なのか。
- ・祭りと観光の話題であるが、北上市は情報発信が苦手であるということだが、対外的な情報発信は必要であるが、市民が求めるような情報発信がさらに必要である。芸能祭りに携わっている人をフォローしながら市民のみなさんに積極的に関わっていただきたい。

高橋敏彦（議長）

芸能祭りに関わっている方々は現状の経済状況で苦戦しているようである。みなさんの支援を望む。未来創造会議からの提言や意見は作成委員会とキャッチボールを繰り返しながら進めて行く状況である。未来会議からの意見を作成委員会が代えることはない。

大学の誘致は莫大な予算が必要である。大学が北上市に来たいというような環境づくりを目指すことが未来創造市民会議の意見である。

政策事業提案一覧について、10団体の政策提案を4分類してみた。これは途中経過であるから、ひとくく



意見交換の様子

りが良いか、文化の街並街道のように分類する方法で提言まで進めることが良いか、政策提案があれば追加できる。

次回は9月に開催する。

5 ふりかえり

・わが流域環境ネット

今日は活発な意見交換ができてよかった。

今後はもう少し時間をかけて会議をもってもいいのではないか。

・芸術文化協会

北上市民活動団体連絡協議会の名にふさわしく、今、北上市の鼓動を伝える、生の情報提供---協同連帯の輪が広がっていく、との実感を得る。

・いわてNPO-NET サポート

市民活動からの政策・事業提案一覧表のような企画提案型の会議は、もう少し充実させる方向で努力して見たら面白いと感じた。ガンバって下さい。

6 出席者 27名

来 賓	法人	団体名	役職	代表者名	出席者	
					役職	氏名
1	行政	北上総合支局地域支援部地域支援課	支局長	遠藤 譲一	総括主査	佐々木正浩
2	行政	北上市企画部政策企画課	課長	今野 好孝	主任	高橋 剛
3	行政	北上市企画部地域づくり課	課長	平野 昌幸	課長	平野 昌幸
市民活動団体						
4	社会福祉法人	北上市社会福祉協議会	会長	小笠原祐二	主任	佐藤 剛
5	NPO法人	いわてNPO-NETサポート	代表理事	高橋 敏彦	代表理事	高橋 敏彦
6	NPO法人	北上アスレチック&ラグビー倶楽部	理事長	平野 正	専務理事	八重樫 悟
7	NPO法人	芸術工房	理事長	高橋 敏	常務理事	昆野 将俊
8	NPO法人	ひびきの会	代表	伊藤 和子	事務局	小笠原 ひとみ
9	NPO法人	フォルダ	理事長	木野 義治	ゼネラル・マネジャー	司東 道雄
10	NPO法人	わが流域環境ネット	代表理事	及川 一	代表理事	及川 一
11	社団法人	北上青年会議所	理事長	八重樫 敏	理事長	八重樫 敏
12	社団法人	北上青年会議所			副理事長	吉田 有芳
13	任意団体	いなせ企画	会長	上野 温		司東 道雄
14	任意団体	北上ユネスコ協会	会長	成瀬 延晴	会長	成瀬 延晴
15	任意団体	街づくり市民の会	代表	石川 義弘	事務局長	山下 正彦
16	任意団体	北上市芸術文化協会	会長	八重樫 哲	会長	八重樫 哲
17	任意団体	広瀬川まちづくり倶楽部	会長	大川 正裕	事務局長	山下 正彦
18	NPO法人	北障連	理事長	小田嶋義幸	理事長	小田嶋義幸
19	NPO法人	よつばネット	理事長	高橋 靖男	理事	沼崎 俊彦
20	NPO法人	よつばネット			理事	菊池 基男
21	NPO法人	くちない	理事長	昆野 先男	副理事長	昆野 吉延
22	任意団体	CADM夢(キャドリーム)	代表	籠谷 睦美	代表	籠谷 睦美
23	報道	河北新報社 北上支局		高橋 鉄男		高橋 鉄男
24	NPO法人	いわてNPO-NETサポート			理事	高橋 求
25	NPO法人	いわてNPO-NETサポート			理事	菊池 広人
26	NPO法人	いわてNPO-NETサポート			事務局	三田 香織
27	NPO法人	いわてNPO-NETサポート			事務局	高橋 淳子